

第3学年 音楽

第3学年の学習到達目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第3学年の主な学習内容

学期	単元名◎は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	にっぽんのうた 春の小川	●季節を感じ、優しい声でなめらかに歌う。	○情景について話し合い、様子を思い浮かべながら歌う。
	ひびけ歌声 この山光る ドレミの歌	●旋律に合った歌い方を工夫しながら、響きのあるのびやかな声で歌う。 ●ハ長調の階名唱に慣れ親しむと共に、楽しく歌い合わせる。	○旋律の変化を聴き取り、表現を工夫する。 ○ハ長調の視聴に慣れ、旋律の重なりを楽しんで歌う。
	楽譜とドレミ キラキラおひさま	●階名を理解し、ハ長調の階名唱奏に慣れ親しむ。	○ハ長調の視唱視奏や楽器の技能を身につける。
	にっぽんのうた 茶つみ	●遊びや身振りを工夫しながら歌って楽しむ。	○手合わせをしながら、リズムに乗って歌う。
	こんにちほりコーダー リコーダーは歌う ちよっとまってね シッパレー 笛星人 なべなべ ゆかいなまきば	●リコーダーの基本的な演奏の仕方に慣れる。 ●リコーダーの美しい響きを味わう。 ●簡単なリズム遊びや旋律づくりを楽しむ。	○リコーダーの音色やアンサンブルの響きを楽しむ。 ○リコーダーの扱い方や奏法、ソ、ラ、シの指づかいに慣れる。 ○伴奏に乗って演奏し、リズム遊びや旋律づくりをする。
	リズムにのって まほうのチャチャチャ	●リズムや旋律の反復や、重なり楽しさを感じ取って、演奏したり聴いたりする。	○リズムや旋律の反復や、重なりを生かして演奏する。
後期	にっぽんのうた うさぎ	●わらべうたの音階に親しむ。 ●季節を感じ、情景を思い浮かべて表現する。	○情景を思い浮かべ、やさしく気持ちを込めて歌う。
	せんりつと音色 森の子もり歌 ユモレスク 中国のたいこ 白鳥	●旋律やフレーズの特徴を捉えて、曲想を生かした表現の工夫をする。 ●楽器の音色の特徴や、旋律の変化を捉えたり、情景を想像したりして聴く。	○想像した情景に合った歌い方を工夫する。 ○楽器の音色や旋律の変化など気付いたことや感じ取ったことを発表する。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>左の4項目について、活動の様子や、歌やリコーダーでの演奏、学習プリントなどにより評価します。</p>
--	---

特色ある学習方法

- (1) 歌い方や演奏の仕方など話し合うグループ活動を取り入れ、工夫して曲にあった表現ができるようにします。
- (2) 友達の演奏を聴いて良かったところを見つけたり、進んで自分の演奏を工夫したりする活動を多く取り入れ、音楽的な要素を感じ取る力を育てます。
- (3) 一人一人の発表の場を多く取り入れ、個人指導をしていきます。
- (4) いろいろな楽器をどの子ども体験できるように、準備をしておき、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにします。

使用教材等

- 教科書「音楽のおくりもの 3」(教育出版)
- リコーダー曲集・CD・ビデオ・楽器(リコーダー・鍵盤ハーモニカ)・歌集などを使用します。

留意事項

- (1) 家庭で歌を歌ったり、リコーダーを演奏したりしていただらしっかり聴いてあげてください。リコーダーは3年生になって初めてふれる楽器です。最初は、音程がずれたりリズムが合わなかったりして聞き苦しい時があるかもしれませんが、温かく見守ってあげてください。
- (2) リコーダーの個人指導をしていきますが、指が小さくて穴をふさぐのが難しい子どももいます。焦らず指導をしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。